

vol.13

スポーツには、言葉、性別、人種、障がいなどの壁はありません。
そして健康や生きがいづくり、地域や経済の活性化、国際交流などに密接に関わり、
人と人、企業と企業、北海道・札幌のモノ・コトをつなぐ大切な役割を担っています。
このようなスポーツによるまちづくりについて、レバンガ北海道のドワイト・ラモス選手にお話を伺いました。

地域の人々と手を取り合いながら
バスケットを通じて札幌の街を元気に



レバンガ北海道

ドワイト・ラモス さん

1998年生まれ、フィリピン国籍・アメリカ育ちの25歳。2021-22
シーズンに来日し、富山グラウジーズ (B1) でプロデビュー。
2022-23シーズンからレバンガ北海道に新加入。FIBAバスケット
ボールワールドカップ2023ではフィリピン代表として出場。

オフは街の散策を楽しむことも
都市と自然との調和が魅力的

22年にレバンガ北海道に加入し、シーズンを
通して札幌で暮らして感じたことは、この
街の過ごしやすさです。中心部では商業施設
が充実している一方で、緑豊かな公園も近く
にあり、少し足を伸ばせば温泉やスノーリ
ゾートなど、気軽に豊かな自然を満喫でき
る。四季のコントラストが鮮やかで、都市の利
便性と自然環境が程よく調和した居心地の
良さが、札幌の魅力だと感じます。僕が育った
ロサンゼルスは雪が降らない地域だったので、
はじめての冬は慣れない雪道で転んでしまっ
こともありました。今年には防寒着やブーツ
も用意して準備万端です！ 冬の札幌もゼ
ン楽しみたいです。

交流を通じて競技への関心を高め
街と人に元気を届けたい

街を歩いていると、野球やサッカーのユニ
フォームを着た市民をよく見かけます。アメ
リカやフィリピンではバスケットボールは国
民的スポーツで、ファンの熱量や地域での注目
度も高いですが、日本ではまだまだ成長段
階。23年W杯で注目を集めた今こそ、街ぐる
みで盛り上がって行けるチャンスだと感じて
います。学校訪問や体験会など、選手と子ども
たちが直接触れ合う機会を積極的に設ける
ことで、競技をより身近に感じてもらえて、親
子で試合に足を運ぶきっかけにもなると思っ
ます。僕らのプレーが子どもたちに勇気とい
ンスピレーションを与えられるように、そして
街と人とを元気にできるように、オンコート
でもオフコートでもベストを尽くしたいです。

いい人、いい街

#まいにち金メダル

さっぽろの魅力的なヒト・モノ・コトに
金メダルを贈り合う「まいにち金メダル」プロジェクト実施中

公式
Instagram /

チケット販売中

2024/1/27(土)・28(日) vs信州ブレブウォリアーズ戦
1/31(水) vs群馬クレインサンダース戦

会場：北海きたえーる

チケット購入は
コチラ